



決算補足説明資料

2021年12月期 第3四半期

西本Wismettacホールディングス株式会社

2021年11月12日

- サマリー P.2
- 2021年12月期 第3四半期決算概要 P.3
- 会社概要 P.8

2021年第3四半期決算

- ◆ 上期に引き続き、北米・欧州地域を中心に消費需要が回復。前年同期比で大幅増収増益。

前年同期	売上高	1,243億円	営業利益	0.5億円	経常利益	▲2億円	四半期純利益	3億円*
当期	売上高	1,553億円	営業利益	50億円	経常利益	49億円	四半期純利益	32億円*

(*) 親会社株主に帰属する四半期純利益

通期業績予想および期末配当予想

- ◆ 通期業績予想、期末配当予想ともに、第2四半期決算公表時より変更なし。

業績予想	売上高	2,000億円	営業利益	55億円	経常利益	51億円	当期純利益	38億円*
配当予想	中間	35円(実績)	期末	45円	合計	80円		

(*) 親会社株主に帰属する当期純利益

- 配当については、従来の方針通り、配当性向を重要な指標とし、通期で30%程度の連結配当性向を目安とする。

当社が目指す方向性

- ◆ 既存事業、新規事業ともに従来からの方向性を維持。
 - 既存事業 ビジネスモデルの再構築と生産性改善に引き続き注力し、収益力強化を図る。
 - 新規事業 既存事業からの派生事業の収益化を目指すとともに、新領域で次世代の事業を創成する。
- ◆ 中期経営計画については、当期の業績における一過性要因ならびに来期以降のアフターコロナに向けた外部環境の変化が業績に及ぼす影響等を精査の上、後日公表予定。

2021年12月期 第3四半期 決算概要



**上期より引き続き、欧米地域を中心に需要が回復し、売上の大幅増収に寄与。
利益面では引き続き各種施策に取り組み、増益を維持。**

- ◆ 売上高は、前年同期は新型コロナウイルス感染拡大にともなうロックダウン等の規制により、レストラン向け売上が大幅に減少したのに対し、当第3四半期連結累計期間は一部に影響は残るものの、全体的には順調に回復し、前年同期比+24.9%の大幅な増収となった。
- ◆ 利益面では、当第3四半期連結累計期間においては増収による増益に加え、たな卸資産評価損及び貸倒引当金繰入額の戻入、さらに上期から取り組んでいる収益回復のための様々な施策の実施も奏功し、大幅な増益となった。
 - 前年同期は、新型コロナウイルス感染症拡大に係る対応として、貸倒引当金繰入額及びたな卸資産評価損(合計約17億円)を計上。

(単位:億円)

		2020年12月期		2021年12月期		前年同期比増減 (累計比較)
		第3四半期実績		第3四半期実績		
			(7-9月)		(7-9月)	
業 績	売上高	1,243	445	1,553	554	+24.9%
	売上総利益	206	80	292	104	+41.7%
	営業利益 (政策経費除く)	15	17	69	23	+359.9%
	営業利益又は損失 (△)	0	12	50	17	-
	経常利益又は損失(△)	▲ 2	12	49	16	-
	親会社株主に帰属する四半期純利益 又は損失 (△)	3	13	32	6	+788.6%
円ドルレート (期中平均)		107.59円		108.50円		0.91円
1株当たり四半期純利益又は損失 (△)		25.36		225.30		+788.4%

**アジア食グローバル事業は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響以前の2019年の水準以上に回復。
農水産商社事業は、主力の輸入青果の需要低迷により減収減益。**

アジア食グローバル事業（以下、「GAF」）

- ◆ 主力の北米地域は、ワクチン接種の進展に伴う規制緩和やリバウンド消費需要もあり、レストラン向け販売が回復伸長すると共に、グローバル向け販売が好調を維持。北米以外の地域も概ね順調に回復し、売上高は前年同期比+37.3%の増収。
 - ・ 北米地域では、前年同期比+23.5%、新型コロナウイルス感染症拡大以前の2019年度の水準以上に回復。
 - ・ 北米以外の地域は、前年同期比+91.4%。（期中買収の会社を除いたベースでは、+15.0%。）

農水産商社事業

- ◆ 主力の輸入青果が緊急事態宣言の長期化により需要が低迷し、安値の国産品との競合も相まって▲1.3%の減収。
- ◆ 利益面では、世界的な物流混乱を起因とする入港スケジュールの遅延による在庫滞留及び品質劣化等が影響し、相場が大きく崩れたことにより赤字。

（単位：億円）

事業セグメント		2020年12月期		2021年12月期		前年同期比増減 （累計比較）
		第3四半期実績		第3四半期実績		
			(7-9月)		(7-9月)	
GAF	売上	847	315	1,163	432	+37.3%
	営業利益又は損失(△)	▲1	9	56	22	-
農水産商社	売上	371	122	366	114	▲1.3%
	営業利益又は損失(△)	5	5	▲0	▲2	-
その他	売上	25	6	23	7	▲6.4%
	営業利益又は損失(△)	0	▲0	▲0	▲0	-
調整項目	売上	-	-	-	-	-
	営業損失(△)	▲4	▲1	▲4	▲2	-
合計	売上	1,243	445	1,553	554	+24.9%
	営業利益	0	12	50	17	-

連結貸借対照表（要約）



（単位：億円）

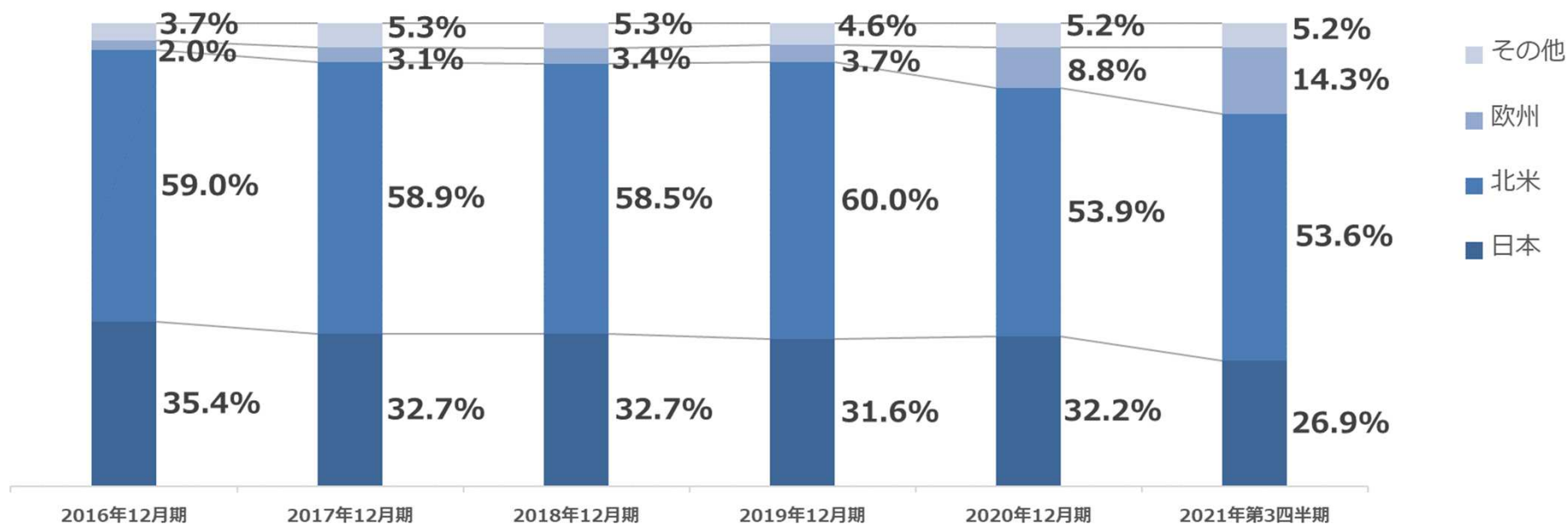
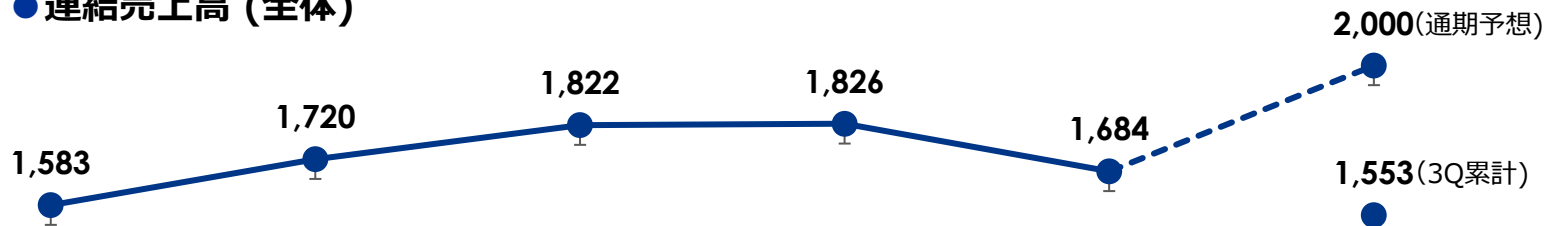
		2020年12月末	2021年9月末	増減額/率	主要な増減項目
資産合計	流動資産	981	1,078	+97	現金及び預金+15, 売上債権+22, たな卸資産+56
	固定資産	154	168	+13	リース資産（純増）+6, のれん+6
		1,136	1,247	+111	
負債合計	流動負債	214	272	+57	仕入債務+20, 短期借入金+1, 1年内返済予定の長期借入金+28
	固定負債	412	407	▲4	長期借入金（純減）▲4
		627	680	+52	
純資産合計		508	567	+58	
負債・純資産合計		1,136	1,247	+111	
自己資本比率		44.4%	45.1%	+0.7pt	
流動比率		456.5%	396.1%	▲60.4pt	

(参考) 地域別売上構成比率



* 外部向け売上高
単位：億円

● 連結売上高 (全体)



SSP (ドイツ・2020/2)、
C3C (フランス・2020/7)
連結子会社化

Sco-Fro Group (英国
スコットランド・2021/2)
連結子会社化

会社概要



- ◆「地球それ自体」と「Globalism」をイメージした2つの球体
 - 革新の「赤」+自然の「緑」
 - 「より健康で豊かな食生活へのあくなき挑戦の意思」
- ◆社名の「W」「M」「C」をモチーフとして造形化

- 【Wisdom】 …(西洋智)
- 【Metta】 …(東洋智)
(パーリ語：優しさ/思いやり)
- 【Creativity】 …(価値の創造力)

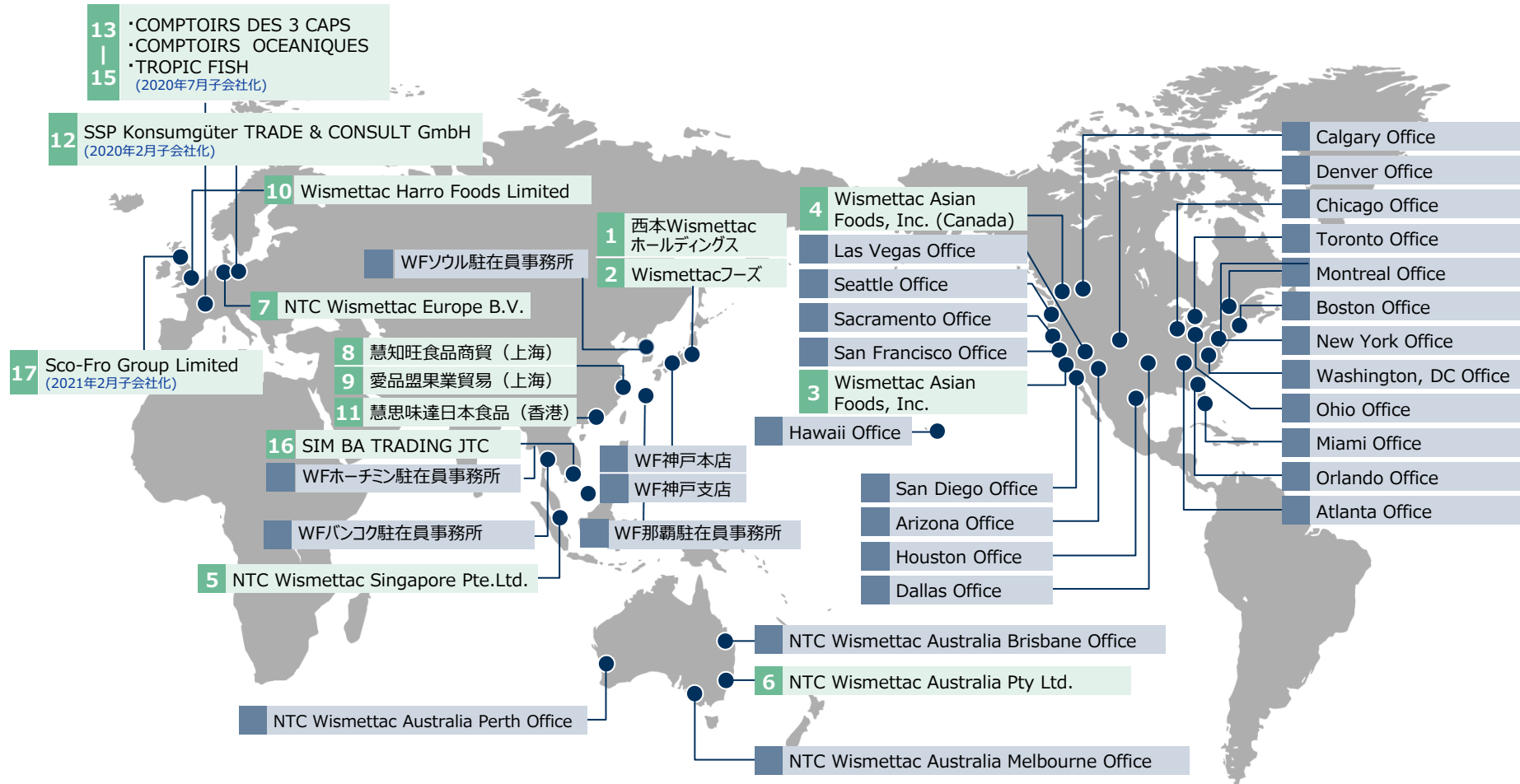
明治45年（1912年）に創業後、世界市場に食材・食品を供給するグローバル企業へと成長

社名	西本Wismettac (ウイズメタック)ホールディングス株式会社
本社	東京都中央区日本橋室町三丁目2番1号 日本橋室町三井タワー15階
創業	1912年5月
代表者	代表取締役会長兼社長 CEO 洲崎 良朗
従業員数	1,768名（うちアジア食グローバル事業：1,455人） [2020年12月末時点]
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆ アジア食品の開発及びグローバルでの販売 ◆ 青果物全般(フルーツ、野菜、その他加工品)の輸入販売、食品メーカー並びに 外食産業向けの食材の供給
子会社、関連会社	子会社21社、関連会社1社
拠点所在地	世界48か所（うち北米拠点：24か所） 日本・米国・カナダ・シンガポール・オーストラリア・オランダ・英国・ドイツ・フランス・中国・ 香港・タイ・ベトナム・韓国
連結売上高	1,684億円 [2020年12月期] * 海外売上比率67.8%
連結経常利益	17億円 [2020年12月期]
自己資本比率	44.4% [2020年12月期]

西本Wismettac : 国内・海外拠点一覧

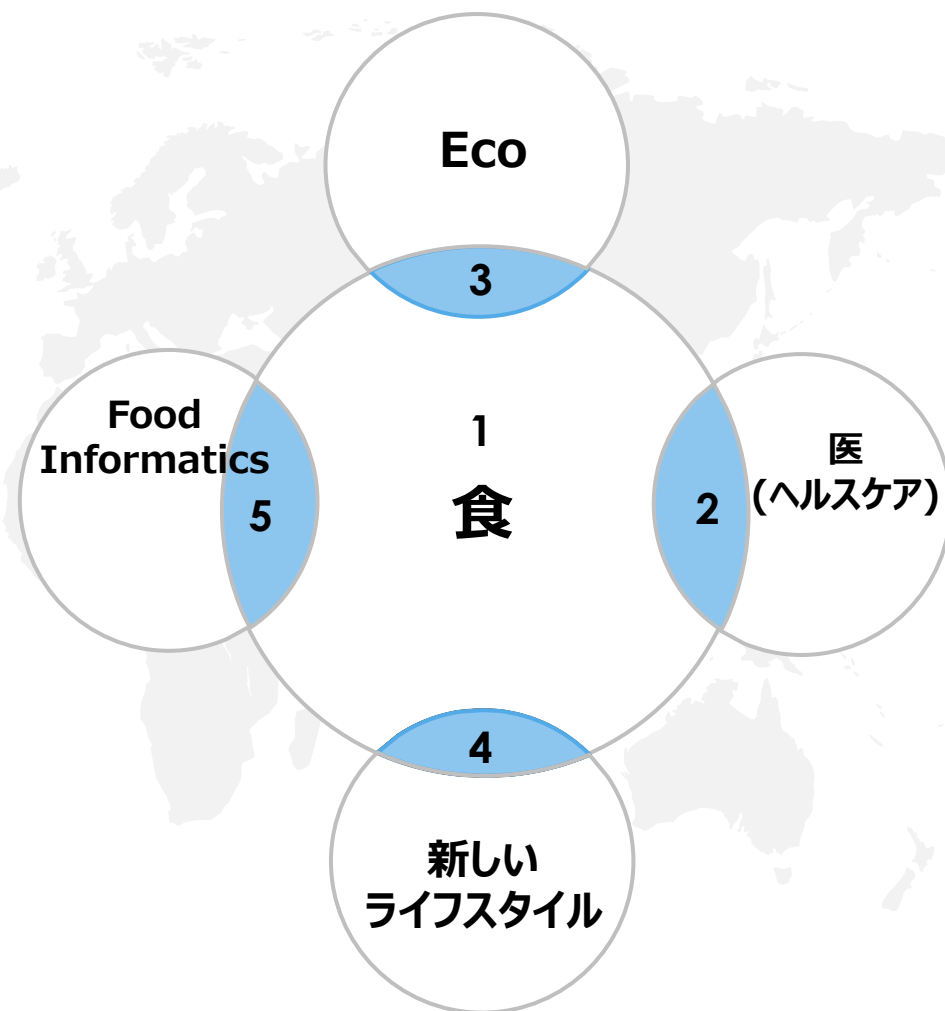


当社グループは北米、欧州、豪州、アジアにおいて48拠点を有し、グローバルに事業を展開。
うち、北米（アメリカ・カナダ）は24拠点を有し、売上の過半以上を占める。



図表中の“WF”は“Wismettacフーズ”の略

食の領域と他の領域の融合する分野において、ニーズ・イシューとソリューションを組み合わせた新たな事業（ビジネスモデル、商品）を継続的に創出し、グローバルに展開する企業グループを目指す。

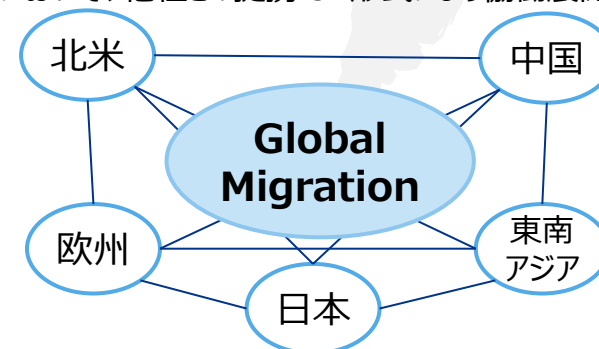


当社の事業領域

1. 食の領域：既存事業を基盤とした飛躍
2. 食と医（ヘルスケア）の重なる分野
3. 食とEcoの重なる分野
4. 食と新しいライフスタイルの重なる分野
新型コロナウイルス拡大により大きく変化する分野
特に供食のあり方の進化
5. Food Informatics

Global Migration

- グローバルで最も進んだスタートアップのビジネスモデルを、海外5地域(北米、欧州、中国、日本、東南アジア)において、他社との提携・JV形式により協働展開



既存事業の収益力の強化および、新たな領域における事業の創出を目的とした投資を継続。
 一部の施策は当初計画より緩やかな進捗ではあるものの、コロナ禍の影響が残る中で着実に推進。

	施策	金額(経費含む、億円)			狙い	
		'20年 実績	'21年 計画	3Q実績		
1	事業領域の拡大	◆ 食・医・エコ・新しいライフスタイル・Food informaticsが融合する部分での新事業の創出	3	8	4	◆ 事業ポートフォリオの多角化
2	地域間連携の強化	◆ 海外地域マネジメントチームの組成・強化 ◆ 欧州、中国における商品開発およびメインストリーム向け販路開拓	10	16	8	◆ 各地域の組織経営力強化 ◆ メインストリーム販路の確保、取引深耕に向けた事業戦略の構築
3	既存事業の収益力強化	◆ 商品開発部門の充実	1	2	1	◆ PB化の一層の推進 ◆ 健康志向商品等の開発 ◆ DX・ロボティクスによる販管費・物流費の圧縮 ◆ 組織力の強化 ◆ 会社、個人業績に応じた報酬 ◆ 社内コミュニケーション・連携ツール導入によるチームワーク力強化
		◆ SCM・ITインフラ投資	0	5	0	
		◆ 組織の活性化・スリム化(北米等)と報酬制度改革	5	5	3	
4	既存事業から派生した新規事業の展開	◆ 国内農産品の海外輸出の仕組みの構築	1	1	1	◆ 海外市場の成長の取り込み
		◆ 外食向け新サービスの開発(ニューノーマルの食生活)	2	2	1	◆ ニューノーマルに対応した外食業態の取り込み
計			22	39	18	

注意事項

本資料は、西本Wismettacホールディングス株式会社および関係会社（以下当社）の財務情報、経営情報等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。

本資料に掲載されている当社の計画や戦略、業績の見通し等は、将来の予測等に関する情報を含む場合があります。これらの情報は現在入手可能な情報に基づくものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があり、当社はこれらの情報を使用されたことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。

資料の作成には、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、当社は事由の如何を問わず一切責任を負うものではないことをあらかじめご了承ください。

本資料は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定はご自身のご判断で行うようお願いいたします。

【お問合せ先】

西本Wismettacホールディングス株式会社
経営企画部
TEL : 03-6870-2015

